高梁川総合開発事業環境影響評価の生態系について

建設省岡山河川工事事務所　賛　　横部幸裕
建設省岡山河川工事事務所　賛　○松岡弘久
建設省岡山河川工事事務所　賛　　若杉俊一

1. はじめに

高梁川総合開発事業を進めるうえで、環境の保全について適正な配慮を行うため環境影響評価を実施している。この環境影響評価を行うに当たって、新たな環境要素として生態系がある。

2. 高梁川総合開発事業の概要

高梁川総合開発事業は、岡山県の西側に位置する高梁川と河口から約13.4km付近で合流する支川の小田川との合流点を現況より約4.6km下流に付け替えることにより、小田川の高水位を低下させて洪水及び内水被害の軽減を図ると共に、高梁川本川狭窄部の治水安全度の向上を図る。また、新たな合流点付近に流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を目的とする柳井原堰を建設するものである。

3. 環境影響評価法

現在の環境影響評価は、昭和59年８月28日に閣議決定された環境影響評価実施要綱に基づき、河川、道路事業をはじめとして実施されているところであるが、平成９年６月13日に公布された環境影響評価法は、２年を超えない範囲内で政令で定める日（平成11年６月12日まで）から実施されることとなっている。（一部規定により１年以内の施行ができる。）この法律により、表－１のとおり新たな環境要素の追加及び表－２のように方法書という手続きの追加など大きく変更を伴うものとなっている。
以下、高梁川総合開発事業においては、方法書段階ではあるが、新たな環境要素である生態系について取りまとめたものである。

閣議アセスによる対象環境要素

１．公害の防止
　（１）大気汚染
　（２）水質汚濁
　（３）土壌汚染
　（４）騒音
　（５）振動
　（６）地盤沈下
　（７）悪臭

２．自然環境の保全
　（１）地形・地質
　（２）植物
　（３）動物
　（４）景観
　（５）野外ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ

生態系、触れ合い活動などが新たに追加 →

環境影響評価法による対象環境要素

１．環境の自然的構成要素の良好な状態の保持
　（１）大気環境
　　①大気質　　④悪臭
　　②騒音　　⑤その他
　　③振動
　（２）水環境
　　①水質　　③地下水
　　②底質　　④その他
　（３）土壌環境・その他の環境
　　①地形･地質　　③土壌
　　②地盤　　④その他

２．生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全
　（１）植物
　（２）動物
　（３）生態系

３．人と自然の豊かな触れ合い
　（１）景観
　（２）触れ合い活動の場

４．環境への負荷
　（１）廃棄物等
　（２）温室効果ガス等

表－１

環境影響評価手続きの流れ

方法書
- ○事業者の氏名及び住所
- ○事業の目的及び内容
- ○事業区域等の概況
- ○影響評価項目及び調査、予測、評価の手法

⇒

準備書
- ○調査、予測、評価の結果
- ○保全対策の検討

⇒

評価書
- ○県知事等の意見の概要
- ○上記に対する事業者の見解等

表－2

4. 生態系の基本方針

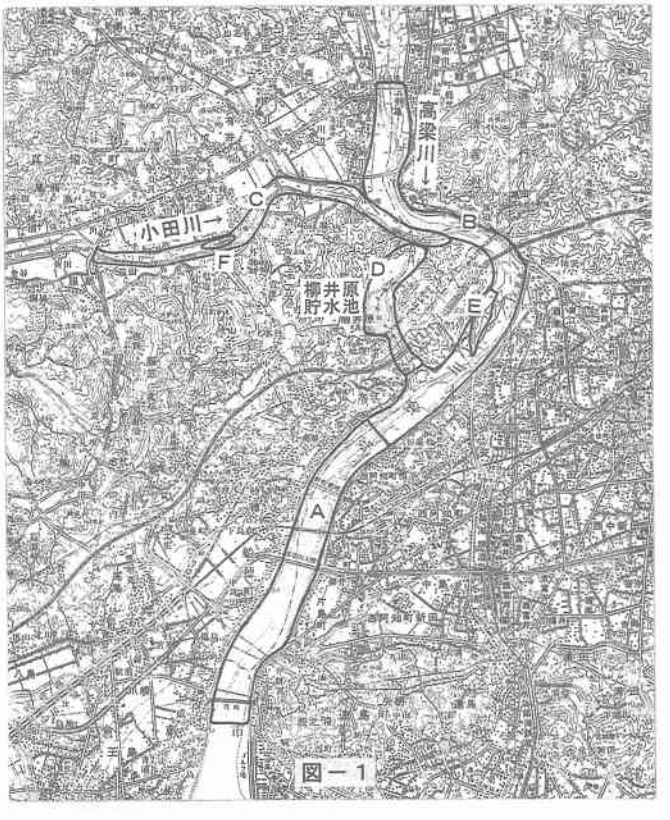
地域を特徴づける生態系に関し、動物及び植物の生息状況等の調査結果より概括的に把握される生態系の特徴に応じて、生態系の上位に位置するという上位性、当該生態系の特徴をよく表わすという典型性及び特殊な環境等を指標するという特殊性の視点から注目される生物種等を複数選び、これらの生態、他の生物種との相互関係及び生息・生育環境の状態を調査し、これらに対する影響の程度を把握する方法、その他の適切に生態系への影響を把握する方法によるものとする。

5. 高梁川総合開発事業の生態系

高梁川総合開発事業における上位性については一般的に鳥類から見ると猛禽類と思われるが、事業の実施においては河川区域を中心とした事業であるため、河川に生息環境を大きく依存しているサギ類を選定した。典型性については河川の特徴をよく表わす区分を整理し、図－1、表－3のように6区分を選定した。特殊性については該当なしとした。

6. おわりに

今後、環境影響評価を進めるうえで生態系については選定した区分の検証を行うため、必要な環境調査を実施し、事業による影響予測、評価を行うこととなる。



図－1

相観による区分	生息・生育生物	区分
広々とした水面を有し、中州と水辺のヤナギ林が見られる流れの緩やかな区域	ヤナギ、ギンブナ、ヒドリモ等	A
オギやヤナギが繁茂する河川敷の間で蛇行しながら瀬と淵が交互に現れる流水の感じられる区域	オギ、ヤナギ、カヤネズミ、オオヨシキリ、オオジュリン、オイカワ、ウグイ、アオサギ、セグロセキレイ等	B
オギ原とその中に点在するヤナギ林が見られる河川敷と水際に沿ってヤナギ林が見られる、緩やかな瀞状の流れの区域	オギ、ヤナギ、カヤネズミ、オオヨシキリ、オオジュリン、ツバメ、タナゴ類、チョウセンカマキリ、スズムシ等	C
広い静水面を有する区域	ブラックバス、ブルーギル、ゲンゴロウブナ等	D
ヤナギ林とその中に点在する池が見られる区域	ヤナギ、ゴイサギ、コムラサキ、稚仔魚等	E
ワンド及び水路が絡み合った区域	オオカナダモ、ヒシ、メダカ、稚仔魚等	F

表－3